

キーワードは「1W4K」

成長戦略の本格的な

スタートの年に

佐世保市長 朝長 則男



新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、健やかに新春を迎えることと心からお喜び申し上げます。昨年は東日本大震災や欧米諸国の財政・経済金融危機の影響などで、本市の経済・雇用情勢も厳しい状況が続きましたが、市民の皆さまには、市政運営にそれぞれのお立場でご協力いただきましたことに、厚くお礼を申し上げます。

特に、東日本大震災に関しては、本市を通じて、1億5千万円を超える義援金をお寄せいただきました。皆さまの温かい善意に心から感謝の意を表します。



さて、本市はことし、市制施行110周年を迎えます。私はこの記念すべき年を、「1W4K」をキーワードとして、本市の成長戦略の本格的なスタートの年にしたいと考えています。

- 「1W4K」の「W」とは、佐世保が日本の西(West)の端に位置しているという「地の利」を意味しており、「4K」とは、
- ①企業(Kigyō)立地の推進
- ②観光(Kankō)振興
- ③基地(Kichi)政策(陸上・海上自衛隊、米海軍)
- ④国際(Kokusai)戦略(東アジアとの経済交流、国際航路・港湾整備)

という4つの施策を表しています。安定的な経済成長を維持する中国や韓国に近いことなど、佐世保の持つ特性や地の利を最大限に生かしながら、「市営工業団地(小佐々地区)の整備など企業誘致の積極的な推進」「地域資源を活用した佐世保の魅力向上」「前畑弾薬庫の移転・

返還や崎辺地区の利活用」「国際航路開設等による東アジアへ向けた九州サブ・ゲートウェイ(副玄関口)構想の実現」などに積極的に取り組み、産業の振興を図っていきます。

このほか、石木ダムの建設促進による水源確保、救命救急センター整備、中学校給食完全実施に向けた施設整備、交通不便地区対策、三浦地区みなとまちづくり計画事業用地の活用、過疎地域自立促進計画を基本にした合併地域の活性化、農・水産業の振興、全国和牛能力共進会長崎県大会の開催など、ことし取り組むべき課題は山積していますが、市民や市民会の皆さまと力を合わせて、全力で取り組んでいきたいと思えます。

本年が皆さまにとりまして輝かしい飛躍の年になりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。